

ココでしか読めない！

「デンマーク介護職」インタビューの書き起こし！

福祉先進国から知る 介護の違い

必見

デンマークの介護

現地の現役介護職に聞いた

デンマークの介護（現場）の認識を変える

一般社団法人KAiGO PRiDE（所在地：東京都渋谷区、代表理事マンジヨット・ベティ）は今年2月23日「KAiGO PRiDE WEEK」にて数々のトークセッションを開催しました。北欧は福祉が進んだ国というイメージは一般にも広まっていますが、具体的に日本と何が違うのかを知る人は実はそう多くはないと考え、デンマーク在住で現役介護職のMAIKO UEDAさんの協力を頂き、KAiGO PRiDE理事の石本とデンマークと日本の介護の違いについて「介護の現場」に着目して対談して頂きました。本記事はそのトークセッションを元に作成しております。

デンマーク在住15年目のUEDAさんは2018年にデンマークの介護の専門学校に入学し、卒業後リハビリステーションにて介護スタッフとして働いています。ケアワーカーとしての介護職のキャリアは2年半。結婚を機にデンマークに移り住んだのをきっかけにデンマークで働くことを考えた際、何か資格を取得して働こうと思い福祉の専門学校に通ったとのことでした。

熊本県介護福祉士会会長
日本介護福祉士会相談役
KAiGO PRiDE 常任理事

石本淳也

デンマーク社会保険介護助手
MAIKO UEDA



個人の生活を重んじるデンマークの介護

日本の国家資格ではソーシャルワークの「社会福祉士」ケアワークとしての「介護福祉士」が存在していますが、それ以外の介護に携わる職業、初任者研修や実務者研修（旧ホームヘルパー）などは都道府県が与える資格であったりします。それに比べてデンマークは「社会保険介護助手」（デンマーク語を直訳すると「社会と健康のヘルパー」）の上位資格に「社会保険介護士」があり、どちらも国家資格となっているとのことでした。

また、日本とデンマークの大きな違いとしては「老人ホーム」が存在しないことをUEDAさんは挙げています。「1980年代後半に新たな老人ホームの建設を禁止し、可能な限り在宅で介護をする」という考え方に変わっていった」と話してくれました。デンマークではホームヘルパーやケアセンターで働くことが主な仕事で、ケアセンターも日本の老人ホームとは違い「ケアセンター内に住居を持つ住人」という考え方で介護付き住宅は主流であるとのこと。住んでいる家や住んでいる地域で人生を全うできる環境を作り、また「住人」という言葉もそれぞれの生活を重んじた呼び方でもあると、理事の石本も感心していました。デンマークの介護は全て税金で賄われており、税率は25%。福祉先進国は税率が高いイメージがあるが「ただ、それがしっかり国民に目にみえる形で返ってきている。」とUEDAさんは話してくれました。

多方面で盛り上がりを見せたデンマーク介護職のトークセッション、今回のKAiGO PRiDE NEWSでも引き続きお伝えさせていただきます。

YouTube



[https://youtu.be/2j3y6aNcLPM?
si=eJWWKpAED9BUfVyw](https://youtu.be/2j3y6aNcLPM?si=eJWWKpAED9BUfVyw)

トークセッションの詳しい内容は
KAiGO PRiDEのYouTubeでご覧頂けます。

全国シンポジウム

定期的に行っている介護行政等に関わる方向けの「介護の魅力発信全国シンポジウム」の開催を計画しています。10月初旬頃の開催を予定しており、別途対象者様には後ほどメール等でご連絡差し上げます。

NEXT KAI GO PRiDE

今後の活動予定

- 10/19 : 第4回KAiGO PRiDE部
- 11/3 : やまがたKAiGOフォーラム
- 11/26 : 福祉介護イベント@千葉県